

北九州市立大学 都市政策研究所

活動内容のご紹介

研究所の活動

北九州市立大学 都市政策研究所は、産・官・民に開かれた総合的なシンクタンクとして、より大きな価値を創造しながら、北九州地域への社会貢献に取り組んでいます。 ※主な調査研究実績は、裏面に掲載

■ 地域課題研究

北九州地域の抱える様々な課題等について調査研究し、それに基づいた政策提言等を行うことによって地域貢献を行っています。

■ 関門地域共同研究

下関市立大学附属地域共創センターと共に1994年から設置している「関門地域共同研究会」において、「関門活性化」を主テーマとして両大学が連携・協力して調査研究を行っています。

■ 受託研究

北九州市をはじめとする地方公共団体、公的機関、民間企業等からの発注を受け、様々なテーマの調査研究を行っています。

■ 研究交流活動その他

韓国・仁川広域市のシンクタンク「仁川発展研究院」との研究交流事業や、各種研究報告会・シンポジウムの開催などに取り組んでいます。

※ 教育

都市政策研究所の教員は、学部・学群、研究科の専任・兼任教員等として、教育活動にも取り組んでいます。

沿革

… 本研究所の前身は、1959年に設立された「北九州大学 北九州産業社会研究所」です。社会科学系の研究機関として、北九州地域の産業経済、社会福祉の分野で調査研究を積み重ね、地域社会の発展に貢献してまいりました。この研究所が、2006年4月に「財団法人 北九州都市協会」の研究部門を統合して分野を広げ、新たに「北九州市立大学 都市政策研究所」として活動をはじめました。

研究者

| | | |
|--------|----------------------------------|---|
| 所長 | やない まさと 柳井 雅人 副学長・経済学部教授 | 経済地理学、企業立地論 |
| 専任教員 | うちだ あきら 内田 晃 教授 | 都市計画、都市設計、住宅計画 多様なライフスタイルに対応する都市の将来像とその実現に向けた施策や制度について、主にクルマに依存しない公共交通利用促進の視点から調査研究を行っています。 |
| (五十音順) | かたおか ひろゆき 片岡 寛之 准教授 | 都市解析、リノベーションまちづくり 近年では、リノベーションまちづくりをはじめとした実践活動に力を入れており、それに付随する各種調査研究を行っています。 |
| | こうやま かずひさ 神山 和久 教授 | 消費経済学、消費者行政、世論調査 変貌する社会と消費者を視座におき、主に北九州市民ニーズの動向把握とその影響について、行政政策の観点から調査研究を行っています。 |
| | ふかや ひろい 深谷 裕 准教授 | ソーシャルワーク、司法福祉、精神保健福祉 多様な人々が暮らしやすい社会の実現を目指して、マイノリティに焦点を当てながら、地域社会における社会的および心理的課題について、さまざまな調査研究を行っています。 |
| | みなみ ひろし 南 博 准教授 | 都市政策・地域活性化 地域活性化に向けた総合的な都市政策を研究しています。近年は、「道州制」、「行革」、「市民協働」、「スポーツ（ギラヴァンツ北九州など）や集客イベントによるまちづくり」等の調査研究を行っています。 |
| | みやした ともひさ 宮下 量久 准教授 | 地方財政、地域振興、経済政策 道州制の財政制度や区割り、日本経済の長期ビジョン、スポーツ庁の設置形態などに関する提言を行ってきました。最近では、「平成の大合併」の政策評価や公共インフラの有効活用策を研究しています。 |
| | よしむら ひでとし 吉村 英俊 教授 | 地域産業政策、中小企業経営、社会システム工学 地方工業都市の変容のあり方、ベトナムの裾野産業の育成、ベンチャー企業の創出・育成など、モノづくりを軸に調査研究を行っています。 |
| 事務 | 大学事務局 地域・研究支援課 研究支援係（都市政策研究所事務室） | |

北九州市立大学 都市政策研究所 主な研究テーマ一覧 (直近の2011～2014年度)

| 区分 | | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | |
|----------------------------|------------------------|---|--|---|---------------------------|
| 地域課題研究 | 都市計画・都市居住 | 北九州市民の幸福度に関する調査 | 北九州市民の住宅・居住地の選好性に関する調査 | 北九州市内のアーケード商店街を対象としたテナントの入居状況 | |
| | | E S D活動推進における高等教育機関の役割と課題 | 地方都市におけるフットパス導入による地域活性化の検討と課題 | 地方都市における市街地型フットパス導入に向けた課題と方策 | |
| | 産業・地域経済 | 関門地域の大学の起業教育の現状と課題 | イノベーションを担う人材の幸福度 | ベトナム・ハイフォン市の裾野産業育成に向けたクリーナープロダクション導入可能性に関する基礎的研究 | |
| | | 北九州における「集客」の現状と課題～ギラヴァンツ北九州、B-1グランプリ in 北九州～ / B-1グランプリ in 北九州への来場者の評価および開催に伴う経済波及効果に関する研究 / 2013年シーズン当初のギラヴァンツ北九州に対する市民意識 ほか | 北九州におけるスポーツを活かしたまちづくりの課題と展望 / 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に関する北九州市民の意識 / ギラヴァンツ北九州に関する研究・実践活動 | 北九州マラソン2014の経済波及効果 / 全国餃子祭り in 北九州の来場者分析および経済波及効果 / 2015年シーズン開幕直前のギラヴァンツ北九州に対する市民意識 / スポーツ文化普及・シティプロモーションの可能性とメディア対応のあり方 ほか | |
| | | | | 北九州の旧五市合併が財政の効率性に与えた影響 | |
| | 福祉・地域づくり | 生活意識の現状 ー 全体的生活満足感と居住環境の捉え方 | 生活感に関連する要因ー生活のゆとり感や社会関係の認知、地域活動への参加との関連性ー | 人口減少と地域の課題 | |
| | | 高齢者虐待に関する判断についての比較研究 | 行動経済学による「消費者力」の涵養 | 行動経済学による「消費者力」の涵養(2) | |
| | 関門地域共同研究 (北九大 主担当分) | | 女性の就業条件と仕事中断の要因 | 横断的に見る女性の就業形態のゆとりの変化 | |
| | | | 広域連携および道州制に関する市民意識 | 広域連携および道州制を視野に入れた地方自治のあり方 | 関門地域における公共施設の相互利用に関する調査研究 |
| | 受託調査研究 | 総合政策 | 北九州市基本計画の見直しに向けた調査・研究 | A校区住民調査集計等業務 | 「関門地域経済戦略会議」運営業務 |
| 「九州の公立大学のあり方を考える研究会」調査研究支援 | | | | 関門地域の公共施設・サービス等の調査・研究 | |
| 道州制下における大都市制度のあり方に関する調査研究 | | | | 北九州地域の公共施設・サービス等の調査・研究 | |
| まちづくり・にぎわい | | Jリーグスタジアム観戦者調査 | Jリーグスタジアム観戦者調査 | Jリーグスタジアム観戦者調査 | |
| | | 「まちづくり組織」策定調査研究 | | 室町1丁目再開発事業の波及効果に関する研究委託業務 | |
| | | 中間市の川にまつわる地域資源を活かした活性化方策に関する調査研究 | | 分譲マンション管理組合実態調査 | |
| 技術・環境 | | 太陽光エネルギー技術研究開発 / 太陽光発電システム次世代高性能技術の開発 / 広域対象のPVシステム汎用リサイクル処理手法に関する研究開発 | | ハイフォン市鋳造工場への日本製技術導入可能性調査業務 | |
| | | 「ハイフォン市製造業の工場管理力向上プログラム」事業実施に係る支援 | 「ハイフォン市製造業の工場管理力向上プログラム」の効果的実施及び最終評価に係る調査業務委託 | ハイフォン市における工場へのクリーナープロダクション導入調査 | |
| | | 北九州学術研究都市に関する機能強化調査 | | ハイフォン市鋳造工場へのベトナム国補助金の適用可能性調査における現地データ収集業務 | |
| | | 超小型電気自動車の利用者ニーズ及び活用方策に関する調査 | | 平成26年度IGES戦略基金活用による都市サービスの財務分析の基礎調査業務: 公共交通サービス分野 | |
| 福祉・社会・その他 | | 環境みらい学習システム(E S D)プログラム体系化整理 | | 北九州ひとみらいプレイスの今後の方向性の提案業務委託 | |

【お問い合わせ】

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1
北九州市立大学 都市政策研究所

電話 093-964-4302 (事務室)

FAX 093-964-4300

E-mail toshiken@kitakyu-u.ac.jp

WEB <http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>